



訪問ガイド 2026

ノイシュヴァンシュタイン城

フッセン・から 44€

<https://neuschwanstein.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金

歴史 & エクスperiences

起源 & 歴史

白鳥の騎士の夢と現実

GOOGLE **4.6** ★★★★★ 117 668 レビュー

Tickets **3.9** ★★★★★☆ 96 レビュー

ノイシュヴァンシュタイン城の物語は、バイエルン王ルートヴィヒ2世の夢から始まりました。彼は1869年9月5日、旧要塞の跡地に「新しい白鳥の岩」を建設する命令を下しました。この構想は、幼少期に過ごしたホーヘンシュワンガウ城の記憶と、作曲家リヒャルト・ワーグナーへの深い敬意に基づいています。ワーグナーへのオマージュとして設計されたこの城は、単なる住居ではなく、芸術とロマンティズムの神殿となることを目指していました。

建設過程は壮大な工事を伴いました。ルートヴィヒ2世は、旧城跡の基礎を8メートル下げるために山を爆破させ、現在の構造物が谷を見下ろす岩棚の上に建てられるようにしました。1879年から1880年には、ザルツブルク産の大理石465トンやレンガ40万枚など、莫大な資材が使用されまし

た。建築家クリスチャン・ヤンクとエドゥアール・リーデルは、ネオゴシック様式とネオルーマン様式を融合させた独自のデザインを実現しました。

しかし、この城は完成を見る前に公開されることになりました。ルートヴィヒ2世は1886年に亡くなり、工事はまだ完了していませんでした。それでも、州は14室のみを修復し、一般公開を開始しました。この未完成の状態こそが、今日私たちが目にする独特の美しさの一部となっています。未完成の美学は、訪問者に想像力を刺激し、王の夢を追体験させる機会を与えます。

現在、この城はドイツで最も有名な観光地の一つであり、年間100万人以上の観光客が訪れます。それは単なる歴史的建造物ではなく、バイエルンのロマンティックな精神を象徴する存在です。その外観はディズニーのカッスルにインスピレーションを与え、世界中で愛され続けています。

体験

チケットセンターを出て、シャトルバスまたは徒歩で城へ向かう道中は、すでに魔法のような体験が始まっています。アルプスの麓を縫うような小道を歩きながら、徐々に高まる期待感の中で、緑豊かな斜面を登り切った瞬間、目の前に現れるのは圧倒的な景観です。**200m**の岩山の上から見下ろすオールガウ地方のパノラマは、息を呑むほど美しく、訪れた者の心を瞬時に奪います。

城内に入ると、狭い通路を抜け、突然開かれた空間に出ます。光が差し込む窓から見える風景と、壁に描かれたフレスコ画が重なり合い、現実と幻想の境界が曖昧になる感覚を味わえます。30分という短いツアーですが、ワーグナーの世界に入り込んだかのような没入感は忘れがたいものです。静寂の中、ガイドの言葉を聞きながら、王の孤独と情熱に触れることができるでしょう。



訪問の準備

実用的な情報

住所

フッセンの近くにあります。ホーヘンシュワンガウチケットセンターからのシャトルまたは徒歩（15-20分）でアクセス可能。城への直接駐車はできません。

営業時間

窓口に表示されている固定時刻でのみツアーを実施。季節によって時間が変動するため、出発前に冬季の条件（雪）を確認してください。

料金

チケットは当日分のみ現地で販売されます。大人はオーディオガイド込みで約25€。年齢に応じた幼児は無料。

見学所要時間

ガイド付きツアーは14の部屋をカバーし、厳密に30分間続きます。行列、移動、マルチビジョンショーを含む総所要時間は最低3時間を見込んでください。

写真

城内でのプライベート撮影は厳禁です。Vloggerの方は、Marienbrückeなどの外観ショットに頼る必要があります。

対象者

カップルや大人の方に最適です。お子様は同伴が必要です。リュックサックとベビーカーは城内への持ち込みが禁止されているため、小型のバッグをおすすめします。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



自動車

メモミンゲン空港 (207 min)・シュヴァンガウ ノイシュヴァンシュタイン城 (5 min)



自転車

Memmingen空港 (285 min)・Schwangau Neuschwanstein Castle (5 min)



徒歩

Schwangau Neuschwanstein Castle (8 min)

LOCALISATION

Où se trouve ノイシュヴァンシュタイン城？



📍 Neuschwansteinstraße 20 — 87645 フッセン

🌐 47°33.454' N, 10°44.988' E



組織

30分のツアーの流れを理解する

エントランスホール (1階)

ツアーはこの壮麗なホールから始まります。天井のヴォールトには、ワーグナーの『ジークフリート』を想起させる装飾画が描かれています。床はメットラッハ製のタイルで覆われ、左右に広がる二つの中庭構造が見られます。ここから階段を上り、上層部へと進みます。

玉座の間と寝室 (2-3階)

ツアーのハイライトである玉座の間では、神聖ローマ帝国の皇帝たちを描いた壁画が目を楽しませます。続いてルートヴィヒ2世の個人的な寝室や、ワーグナーのオペラに着想を得た装飾が施された部屋が続きます。各室は厳密に管理されており、細部まで凝ったデザインが特徴です。

バルコニーと展望 (最上階)

ツアーの最後は、アルプスの絶景を望めるバルコニーで締めくくられます。ここでは、城の外観と周囲の自然が一体化した光景を目の当たりにできます。狭い通路を通り抜けた後の開放感は、訪問者に強い印象を残します。

アクセシビリティ



車椅子アクセス

エレベーターによるアクセスが容易ですが、車椅子利用には事前の確認が必要です。



ファミリー向け

階段の上り下りが必須で、ベビーカーは屋内での使用が禁止されています。抱っこひものご用意をおすすめします。



オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



選択

絶対に押さえておきたい見どころ

01

Thronsaal

玉座の間

この部屋は、神聖ローマ帝国の皇帝たちの肖像画で飾られており、王朝の権威を誇示しています。**12人**の皇帝が描かれ、中央にはルートヴィヒ2世自身の像があります。天井の装飾も豪華で、ロマネスク様式の要素が巧みに組み込まれています。

💡 この部屋のデザインは、ルートヴィヒ2世が自分自身を最後の皇帝とみなしていた心理状態を反映しています。

02

Sängersaal

歌手の間

ワーグナーのオペラ『タンホイザー』に着想を得たこの部屋は、中世の楽師たちの世界を再現しています。壁には伝説的な詩人たちの像が並び、音楽と文学の栄光を讃えています。歌の祭典の情景が生き生きと描かれています。

💡 ルートヴィヒ2世は、ここでワーグナーの新作を初演することを夢見ていました。

03

Schlafgemach

ルートヴィヒ2世の寝室

王の私的な空間は、彼の趣味と好みを色濃く反映しています。ネオゴシック様式の家具と、繊細な織物調の壁紙が調和しています。個人の秘密が垣間見えるこの部屋は、歴史的な興味を引きまします。

💡 王はここに長期間滞在せず、死後に発見された遺品の中には未使用のものが多くありました。

04

Gralskapelle

聖杯の間

ワーグナーの『ローエンシュヴァルツ』にインスパイアされたこの小部屋は、神秘的な雰囲気に満ちています。円形の平面と、天蓋からの光が、聖なる空間を演出しています。伝説の聖杯への憧れが表現されています。

💡 この部屋は、王の宗教的執念と芸術的野心の交差点を示しています。

05

Eingangshalle

エントランスホールのフレスコ画

入口のホールに広がる大規模なフレスコ画は、『ジークフリート』の物語を描いています。色彩豊かな絵画は、訪問者を即座に物語の世界へ引き込みます。視覚的な導入として機能し、ツアーの冒頭を盛り上げます。

💡 これらの絵画は、当時の最新技術を用いて制作され、保存状態にも配慮されています。

06

Balkon

バルコニーの眺望

ツアーの終盤に訪れるバルコニーからは、オールガウ地方の雄大な景色が広がります。城の白い壁面と、背後の緑豊かな山々がコントラストを成します。絶景のフレームとして、多くの訪問者がここで記念撮影を試みます（許可があれば）。

💡 この角度からの眺めは、ポストカードや映画のシーンでよく見られる定番のアングルです。

07

Korridor

ネオルーマン様式のアーチ

廊下や階段室に見られる半円形のアーチは、13世紀のロマネスク建築への回帰を示しています。これらの構造要素は、建物の堅牢さと歴史感を強調しています。建築的な調和が、移動中の訪問者にも楽しませてくれます。

💡 これらのアーチは、フランスのピエールフォン城の影響を受けたデザインです。

08

Diverse

未完成のレンガ壁

いくつかの部屋では、まだ塗装されていない裸のレンガ壁が見えます。これは、工事が中断された証拠であり、時間の痕跡として興味深い対比を生み出しています。完成形と未完成形の共存が、この城の独特の魅力を作り出しています。

💡 これらの部屋は、王の死後に計画が変更されたため、元のデザインとは異なる可能性があります。

アドバイス

混雑を避けるための賢い戦略

TIMING

ハイシーズンには行列が数時間に及ぶこともあるため、Ticket Center Hohenschwangauの開門と同時に到着することが最も重要です。午前早めの訪問枠を狙いましょう。

PARCOURS

城へのアクセスはシャトルバスまたは徒歩のみです。徒歩なら約20分で美しい景色を楽しめますが、上り坂なので快適な靴が必要です。

PAUSE

城内にはレストランがありません。Hohenschwangauのチケットセンター付近や、下山後のアルプゼー湖畔で軽食をとる準備をしてください。

AUDIOGUIDE

オーディオガイドは必須ではありませんが、強くお勧めします。特にフランス語版は、ルートヴィヒ2世の心理的背景やワーグナーへの引用を深く理解するのに役立ちます。

BILLET

オンライン事前予約は通常できません。当日券のみ現地販売されます。確実に入手するためには、朝一番の到着が鉄則です。

PHOTO

城内でのプライベート撮影は厳禁です。最高の写真は、峡谷の上にあるMarienbrücke（マリアンブリュッケ橋）で撮れます。

ENFANTS

ベビーカーは城内への持ち込みが禁止されています。抱っこひものご用意をおすすめします。お子様は同伴が必要です。

CONFORT

リュックサックや大型荷物は持ち込み禁止です。ショルダーバッグや小さなハンドバッグを使用してください。ロッカーはチケットセンターにあります。



よくある質問

よくある質問

チケットを事前にオンラインで予約できますか？

いいえ、他の城とは異なり、通常の事前予約はありません。チケットは当日のみ有効なものであり、Hohenschwangauチケットセンターで現地限定販売されています。時間帯を確保する可能性を最大化するために、朝早く到着してください。

城内入場用のチケットがない場合、何をすればよいですか？

入場せずにサイトを楽しむことも可能です。Marienbrückeで象徴的な写真を撮影し、近隣のHohenschwangau城を訪れてみてください。こちらは文化的にも豊かで、アクセス面でもより便利な代替案です。

季節によって料金が異なりますか？

基本料金は一貫していますが、オーディオガイドの費用はわずかに変動する可能性があります。主な制約は価格ではなく空き状況です：ハイシーズンには正午前にチケットが売り切れることが多く、時間の柔軟性が不可欠になります。

Hohenschwangauとのセットチケットを購入できますか？

はい、時間帯が合えば窓口で購入できます。これにより、両方の建物を効率的に訪問できます。なお、2つの場所の違いは重要です：Neuschwansteinは「ディズニー風」の城であり、Hohenschwangauは歴史的な受付センターです。

城内での厳格なルールは何ですか？

リュックサック、ベビーカー、または大型の物の持ち込みは禁止されています。また、プライベート撮影も厳禁です。これらの厳しいルールは、繊細な装飾を保護し、狭い通路での流れをスムーズにするために設けられています。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

爆薬で削られた山

ルートヴィヒ2世は、旧城跡の基礎を8メートル下げるために、第一石を据える前に岩を爆破させました。この大規模な工事により、現在の構造物が谷を見下ろす岩棚の上に建てられました。地形の変更は、城の劇的な位置づけに不可欠でした。

大理石とレンガの量

建設には大量の資材が必要でした。特に1879年から1880年には、ザルツブルク産の大理石465トン、レンガ40万枚、砂3,600立方メートル、セメント600トンが使用されました。この詳細は、王がこの「新しい白鳥の岩」に対する建築的な野心を示しています。

早すぎる公開

この城は1886年に一般公開されました。ルートヴィヒ2世の死から2年後のことですが、工事はまだ完了していませんでした。そのため未完成の部屋も見学できますが、これが一部のエリアが閉鎖されている理由です。未完成のままの公開は、歴史的な偶然の結果です。

多様なインスピレーション源

この城の様式は2つの影響を融合させています：フランスのピエールフォン城にインスパイアされたネオゴシック様式と、テューリングエンのヴァルトブルク城を想起させるネオルーマン様式。この独自の組み合わせが建物のロマンティックな建築を定義しています。

博物館周辺

城の見学後、周辺エリアでのんびり過ごすのもおすすめです。ホーヘンシュワンガウ城は、ルートヴィヒ2世の家族が住んでいた歴史的な居城で、ノイシュヴァンシュタインとは異なる落ち着いた雰囲気を味わえます。また、峡谷の上を吊り下げられたマリアンブリュッケ橋は、城の全景を捉える最高の写真スポットです。昼食休憩には、静かな水辺のアルプゼー湖が最適で、自然の中でリラックスできます。さらに、ケーブルカーでアクセス可能なテゲルベルク山からは、オールガウ地方の360度パノラマビューを楽しむことができます。これらのスポットを組み込むことで、一日の滞在をより豊かにすることができます。



ノイシュヴァンシュタイン城を訪れることは、単なる観光ではありません。それは、ルートヴィヒ2世の夢の中に一歩足を踏み入れる旅です。未完成の完璧さの中に宿るロマンティズムは、あなたの心に深く刻まれるでしょう。下山する際、振り返って見るあの白い塔は、もう二度と同じようには見えない特別な記憶となるはずです。